

1 ポイント (特に工夫した項目に○ いくつでも)

作成者：木谷俊彦 (中学部)

教材教具の工夫	
1 実態に合っているか？	○
2 ねらいが明確か？	○
3 興味関心を生かしているか？	
4 シンプルで誰でも再現可能か？	○
5 一目で動作をイメージできるか？	○
6 児童生徒も教師も使いやすいか？	○
7 実際の生活や他の場面で生かせるか？	○



3 教材教具のねらい

2 生徒の実態 (学級グループ)

- ・話したいことを整理したり、出来事を振り返ることができる。

- ・言葉や簡単な文字による提示により、見通しをもって活動することができる。
- ・質問の意味を捉え、それに対して明確に答えることが難しい。
- ・出来事や行事の感想等を伝える際に「楽しかった。」という感想のみになってしまう。

4 改善の経緯

<改善のポイント!!>

(1) 以前の生徒の様子

- ・行事や出来事の感想を尋ねると、「楽しかった。」という感想のみになってしまうことが多く、具体的にいつ、どこで、誰が、どう思ったのかなどの詳細を振り返り、それらを伝えることが難しい場面が多く見られた。

- ・「いつ」、「どこで」、「誰が」は言えるようになったが「何を」、「どうした・どう思った」について振り返ることは難しかった。

(2) 使用例と生徒の様子

- ・「いつ、どこで、何を、どうした。」について振り返りながら、質問に答えることが少しずつできるようになった。

<今後の改善や使用について>

- ・シートがなくとも、いつ、どこで、誰が、どうした等を整理して伝えることができるように、活動場面を振り返ったり、質問に答えたりする機会を増やしていく。